

第4次大阪府文化振興計画に関連する施策・取組

資料3-4

施策の方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
A ①	芸術文化魅力育成プロジェクト	若手プロデューサーにチャレンジの場を与え、芸術文化の担い手を育成することにも、そのプロデューサーが中心となって、大阪にある優れた芸術文化の魅力を発信していくことにより、大阪の文化活動を好循環に転換していくため、両市が共同して行う事業(アーツカウンシルからの提言)	「Osaka Creative Archipelago」として、10月から2月にかけて、若手プロデューサーの活動拠点(ギャラリー等)を使ったアート作品の制作展示、ライブパフォーマンスなどの「鑑賞プログラム」を5プログラム実施。 また、若手プロデューサーが自由に参加できるトークセッション、助成金相談会などの「育成プログラム」を5プログラム実施。	・参加応募者(若手プロデューサー)数:6番 ・メディア掲載件数:62件 ・総鑑賞者数:2,623名	14,000	府民文化部	文化課
A ①	芸術文化振興補助金	府内の芸術文化団体が行う次世代育成に資する文化活動に補助し、子どもや青少年が優れた芸術文化に親しむことによる心豊かな成長や、大阪の文化を担う人材の裾野の拡大を図る。(最大100万円まで補助)	文化を通じた次世代育成を主たる目的とする下記の事業等(H30年度実施分)を対象に公募を実施し、アーツカウンシル部会による審査を経て、採択事業を決定。 ①舞台芸術事業(公演事業、ワークショップ等の事業) ②出版等の文化普及事業 ③美術振興事業 前年度と同様に、文化を通じた次世代育成を主たる目的とする事業等(H31年度実施分)を別途に公募を実施し、アーツカウンシル部会による審査を経て、採択事業を決定する予定。 ＜スケジュール(予定)＞ 公募時期 平成31年1月頃 審査時期 平成31年2月頃	・応募件数 25件、採択件数 17件	10,036	府民文化部	文化課
A ①	府庁本館活用事業	府庁本館を芸術文化活動の場として提供し、文化芸術団体が実施する自主的な事業を促進する。	開行日の12時15分～13時での実施で、出演団体(若)を募集。	・4事業(プロ団体2事業、アマチュア団体2事業)を実施し、297名が参加。 ・プロの歌劇団が予定する公演のプレイベントとして実施し、歌劇団のPR、公演PRの一助となった。	116	府民文化部	文化課
A ①	アートを活かした障がい者の就労支援事業	障がいのある方のアーティストとしての自立に向け、またチャレンジを支援するため、その作品を「現代アート」として評価し、これをマーケットにつなげていく。	障がいのあるアーティストの活動を支援し、障がいのある人の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、障がい者アートの公募展を開催した。 公募展の開催時期:平成29年11月 開行日の12時15分～13時での実施で、出演団体(若)を募集。	応募作品:1739作品(国内) 411作品(国外) 入賞・佳作:105作品	4,763	福祉部	自立支援課
A ①	障がい者芸術・文化促進事業	障がい者の社会参加を促進し、府民の障がい者への理解を深めるため、国の障がい者芸術・文化の唯一の拠点である国障がい者芸術センター(ビッグ・アイ)を活用して、芸術・文化活動の機会を提供する。	障がいのある人の芸術表現活動の裾野を広げるとともに、舞台芸術の新たな表現や作品を創造することを目的に、「大阪府障がい者舞台芸術フェスティバル2017」、「大阪府障がい者芸術・文化コンテスト2017」を開催した。 コンテストの開催時期:平成29年8月～11月 開行日と同様、「大阪府障がい者舞台芸術フェスティバル2018」、「大阪府障がい者芸術・文化コンテスト2018」を開催する。 コンテストの開催時期:平成30年8月～11月	35,125 (※障がい者芸術・文化促進事業と合わせて)	22,546	福祉部	自立支援課
A ①	障がい者芸術・文化促進事業	障がい者の社会参加を促進し、府民の障がい者への理解を深めるため、国の障がい者芸術・文化の唯一の拠点である国障がい者芸術センター(ビッグ・アイ)を活用して、芸術・文化活動の機会を提供する。	前年度と同様、「大阪府障がい者舞台芸術フェスティバル2018」、「大阪府障がい者芸術・文化コンテスト2018」を開催する。 コンテストの開催時期:平成30年8月～11月	(※アートを活用した障がい者の就労支援事業と合わせて)	35,125	福祉部	自立支援課

施策の 方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額 (千円)	担当部局	担当課
A ◎	大阪府アーティシスト情報発信事業(バンク)	府内で活動するアーティストの情報を広く府民に紹介することで、地域や学校における府民の自主的な文化活動をサポートする。	H29 大阪府インターネット申請・申し込みシステムにより申し出があった内容に基づき、アーティシストバンクに随時登録。	・個人65件(うち平成29年度新規登録数4件) ・団体96件(うち平成29年度新規登録数1件) (年度末の登録件数)	-	府民文化部	文化課
			H30 大阪府インターネット申請・申し込みシステムにより申し出があった内容に基づき、アーティシストバンクに随時登録。		-		
A ◎	音楽指導事業	中高生を主な対象とする管楽器、打楽器の演奏技術講習会を実施する。	H29 ・南地区 10/8 場所：堺市立三国丘中学校 ・北地区 2/11 場所：豊中市立第一中学校	・南地区 参加者：177名 ・北地区 参加者：188名	1,320	府民文化部	文化課
			H30 ・南地区 10月上旬開催(予定) 場所：堺市立三国丘中学校(予定) ・北地区 2月上旬開催(予定) 場所：豊中市立第一中学校(予定)		880		
A ◎	音楽体験事業	日本センチュリーが中心となって、子どもが楽器に触れるとともに、オーケストラの中で演奏を聞き、指揮をするなどオーケストラのあらゆる面を体験できるコンサート等を実施する。	H29 楽団の活動拠点であり、「タッチ・ジ・オーケストラ」の開催場所であるセンチュリーオーケストラハウスの維持管理を適宜行い、楽団の活動を支援していく。	・タッチ・ジ・オーケストラ 18公演 参加者：2310名 ・夏休みファミリーコンサート 2公演 参加者1644名 ・交響学校コンサート 6公演 参加者：2539名 ・病院コンサート 5公演 参加者：535名	-	府民文化部	文化課
			H30 楽団の活動拠点であるセンチュリーオーケストラハウスの維持管理を適宜行い、楽団の活動を支援していく。		-		
A ◎	届け！子どもハワイオマー事業	「メセバ自動販売機」「次世代育成型メセバ自動販売機」からの寄付金を財源として、文化に親しみ、参加、奨励する機会を提供する事業のうち、子どもたちが自身が参加し発表する事業に対して補助を行い、子どもたちの活発な文化活動を促進する。(最大30万円まで補助)	H29 府内の子どもが参加し、文化活動を発表する事業等(H30年度実施分)を対象に公募を実施し、アーツカウンシル部会による審査を経て、採択事業を決定。	・応募件数26件、採択件数16件	4,800	府民文化部	文化課
			H30 前年度と同様に、府内の子どもが参加し、文化活動を発表する事業等(H31年度実施分)を対象に公募を実施し、アーツカウンシル部会による審査を経て、採択事業を決定する予定。 <スケジュール(予定)> 公募時期 平成31年1月頃 審査時期 平成31年2月頃		4,800		

施策の 方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額 (千円)	担当部局	担当課	
A ◎	フェスバや次世代シアター事業	吹洲庁舎1階フェスバを子どもたちが様々な文化・芸術に親しむ文化活動の場として提供する。	H29	朗日日の実施で出演団体(者)を募集。	・4月に1事業実施し、726名の参加があった。(出演者:32団体566名)	府民文化部	文化課	
			H30	朗日日の実施で出演団体(者)を募集。	-			
A ◎	メセナ自動販売機の設置等	広く府民の方から寄附を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一環として、自動販売機の売上上げの定額金を文化振興基金に寄附いただく「メセナ自動販売機」の設置を促進する。また、大阪府文化振興基金への寄附機能の付いた社会貢献型クレジットカード「OSAKAメセナカード」を発行する。	H29	平成29年度末に、吹洲庁舎と府内別館内の次世代育成型メセナ自動販売機について期間終了となることから、事業者公募を実施。	・4事業者から応募があり、次世代育成型メセナ自動販売機を平成30年度末設置。 ・文化振興基金活用事業(芸術文化振興補助金事業、障がい子どもボランティア募集、芸術文化振興事業、フラットフォーム形成支援事業の4事業)を継続。	12,975 (基金総額増設費)	府民文化部	文化課
			H30	メセナ自動販売機設置等の内容をみんなパンフレットを作成し、飲料メーカー等に事業を周知することで設置台数の増加に努める。	12,975 (基金総額増設費)			
A ◎	トップアスリート小学校ふれあい事業	府内小学校に、大阪にゆかりのあるプロスポーツチームのトップ選手や指導者等を派遣し、児童との対話や技術紹介等の直接的なふれあいを、小学生がスポーツのすばらしさや感動を共有できること、また、夢や希望を伝え、運動・スポーツに親しむ態度や習慣を身につけてもらう。	H29	府内小学校の授業中にトップ選手・指導者等を派遣し、児童との対話や技術紹介等の直接的なふれあいを実施する。	派遣校数:142校 参加者数:11055人 延び児童数:669校 協力チーム数:11チーム	府民文化部	スポーツ振興課	
			H30	引き続き、府内小学校の授業中にトップ選手・指導者等を派遣し、児童との対話や技術紹介等の直接的なふれあいを実施するとともに、協力チームと種目の拡充及び派遣小学校数の拡大を図り、可能な限り広範囲で実施できるようにする。	-			
A ◎	出かける博物館事業(府立弥生文化博物館、府立近つ飛鳥博物館)	考古資料などを通して弥生～古墳時代を初めとした歴史への関心と学習意欲を高めるための各種学習支援プログラムを用意し、小・中・高校への出前授業を行う。他、さまざまな施設や団体と協働でワークショップや授業会を行い、大阪の歴史と文化を身近に体感してもらう。	H29	小・中・高校への出前授業の実施、館外における講演会やワークショップを実施する。	・出前授業の回数 176回 ・館外における講演会やワークショップの実施 61回	270,809	教育庁	文化財振興課
			H30	前年度に引き続き、小・中・高校への出前授業の実施、館外における講演会やワークショップを実施する。	270,809			
A ◎	学校支援人材バンク	地域や社会などで活躍する優れた技能や専門的な知識を有する人を「学校支援人材バンク」に登録し、指導者として学校教育に広く協力いただくなど、活用を図る。	H29	社会人として有為な人材を特別非常勤講師として任用する。また、学校支援のボランティアとして、文化部活動の技術指導者等として活用する。 ①特別非常勤講師の配当 ②学校支援社会人等指導者の配当(文化部/福祉/障児・渡日生支援)	①特別非常勤講師配当時間 21239h ②社会人配当回数 3502回	110,806	教育庁	高等学校課
			H30	社会人として有為な人材を特別非常勤講師として任用する。また、学校支援のボランティアとして、文化部活動の技術指導者等として活用する。 ①特別非常勤講師の配当 ②学校支援社会人等指導者の配当(文化部/福祉/障児・渡日生支援)	111,455			

施策の 方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額 (千円)	担当部局	担当課
A ⊙	大型児童館ビッグハン事業	<p>大阪府立大型児童館ビッグハンには、児童福祉法第40条に基づき、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は健康を豊かにすることを目的として設置された児童福祉施設で、大型児童館(A型)として、大阪府内にあたる市町立等の児童館の指導及び管理調整などの中核的役割を果たしている。</p> <p>大阪府における子どもたちの遊びと文化の創造の拠点施設として、「地域の遊びを振興、支援する機能」、「子どもたちの健やかな成長を支える人材の育成機能」を担うことを目的としている。</p>	<p>「子どもたちの遊びと文化の創造機能」、「地域の遊びを振興、支援する機能」、「子どもたちの健やかな成長を支える人材の育成機能」を目的とし、全館事業、移動ミュージアム事業、子育て支援事業等を実施。</p>	<p>・全館事業 2か月ごとにテーマを設定し企画展示等を実施</p> <p>・移動ミュージアム事業 地域の児童館等60か所へ出動し、遊びを履</p> <p>・子育て支援事業 大岩釜から養子生も受入、3校、12名 児童厚生員研修の実施、662名参加 子育て支援講座 4回実施</p>	29,680	福祉部	子育て支援課
			H29	<p>「子どもたちの遊びと文化の創造機能」、「地域の遊びを振興、支援する機能」、「子どもたちの健やかな成長を支える人材の育成機能」を目的とし、全館事業、移動ミュージアム事業、子育て支援事業等を実施。</p>	31,678		
A ⊙	<p>「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール</p>	<p>『青少年に「夢」と「チャンス」を与え、将来の技術者の育成に寄与するとともに、永く府民に愛され親しまれる公共建築づくりを進めていく』ことを目的とし、小規模な公共建築物を題材に府内の高校生や専修学校生等からアイデアを募集し、グランプリに選定された作品の提案を活かして事業化を行う。</p>	<p>第27回「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査会(2/16 咲洲ホール) ・入賞作品展示(2/22～3/27 大阪府咲洲庁舎(さきまコスモタワー)、大阪府本館、ハグミュージアム) ・表彰式、プレゼンテーション(3/28 大阪府公館) <p>H28年度入賞作品展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪府産業教育フェア(教育庁主催)」(7/23 咲洲庁舎) ・「建設技術展 2017近畿」(10/25、26 マイトーム大阪) ・「なにわ建築フェスタ」(11/11、12 堺中央集文化会館) ・「公共建築月間」(11/14 大阪府立労働文化センター・おんさか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・応募校数 18校 ・応募作品数 340点 ・応募者数 368人 ・入選作品 10点 	59	住ままちづくりの部 公共建築課 計画課	
			H29	<p>第28回「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査会(2月上旬予定) ・入賞作品展示(2月下旬～3月下旬 大阪府咲洲庁舎(さきまコスモタワー)、大阪府本館、ハグミュージアム) ・表彰式、プレゼンテーション(3月下旬予定) <p>H29年度入賞作品展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中之島図書館(時期未定) ・「建設技術展 2017近畿」(10月予定) ・「なにわ建築フェスタ」(11月予定) ・「公共建築月間」(11月予定) 	59		
A ⊙	<p>「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール</p>	<p>夕陽丘高校(音楽科)においては、世界的ピアノコンクールをはじめとした第一線の演奏家などによる公開レッスン等、県立夕陽丘高校(芸術文化科)においては、伝統文化の中から歌舞伎区について、舞台設置をはじめ舞台付けや音楽の鑑賞など総合的な特別レッスンを行った。</p>	<p>H29</p> <p>夕陽丘高校(音楽科)においては、世界的ピアノコンクールをはじめとした第一線の演奏家などによる公開レッスン等、県立夕陽丘高校(芸術文化科)においては、伝統文化の中から歌舞伎区について、舞台設置をはじめ舞台付けや音楽の鑑賞など総合的な特別レッスンを行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夕陽丘 12回 ・東住吉 1回 	1,805	教育庁	高等学校課
			H30	<p>夕陽丘高校(音楽科)に関する専門的知識と技術等)、県立夕陽丘高校(能、狂言、歌舞伎、文楽等我が国の伝統芸能の基礎に關すること)の教育活動に各界で活躍するアーティスト等を招へいする予定。</p>	1,804		

施策の 方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額 (千円)	担当部局	担当課
A ②	「大坂人権博物館」における資料収集と情報発信	人権に関する資料を収集保存、公開している大坂人権博物館が行う事業について、道官、紹介するなど、人材育成の普及と、豊かな人権意識を養育、「人間教育」の推進、人間性豊かな文化の発展に貢献する。	H29 ・「「夜間中学生」学びたい！楽しく学ぶ日本国憲法展」などの企画展を3企画実施 ・「いまこそ知りたいたい！楽しく学ぶ日本国憲法展」などの企画展を3企画実施	・特別展 4,646人来館 ・企画展 12,460人来館	0	教育庁	教育庁 地域教育課
			H30	-	0		
A ②	日本民家集落博物館「吉の暮らし」展示体験事業	移居元した江戸時代民家においてボランティアが中心となつて、小学生を対象に祖父の時代の季節ごとの暮らしや遊びの語り聞かせ、体験活動を実施する。	H29 小学校3年の「むかし暮らし」・4年生社会科「暮らしの移り変わり」単元と運動し、民家や民具を活用して実施した。	5校 417名参加	7,304	教育庁	教育庁 文化財保護課
			H30 小学校3年の「むかし暮らし」・4年生社会科「暮らしの移り変わり」単元と運動し、民家や民具を活用して実施する。		7,304		
A ③	オーケストラハウス管理	オーケストラハウス（明部緑地内、日本センターリー交響楽団に貸付）の修繕等	H29 照明などの管内設備、屋外に設置している室内空調の冷却剤の補修を実施。		1,787	府民文化部	文化課
			H30 管内設備、屋外設備等の補修を実施予定。		1,852		
A ③	メセナ自動販売機の設置等 (再掲)	広く府民の方から寄附を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つとして、自動販売機の売上げの一定割合を文化振興基金に寄附した「メセナ自動販売機の設置」の場を促進する。また、大阪府文化振興基金への寄附機形の付いた社会貢献型クレジットカード「OSAKAメセナカード」を発行する。	H29 平成29年度末に、吹洲庁舎と府庁別館内の次世代育成型メセナ自動販売機について期間終了となることから、事業者公募を実施。	・4事業者から応募があり、次世代育成型メセナ自動販売機を平成30年度も設置。 ・文化振興基金活用事業（芸術文化振興補助金事業、備け！子どもファミリー事業、芸術文化振興事業、アララットファミリー形成支援事業の4事業）を継続。	12,975 (基金設置運営費)	府民文化部	文化課
			H30 メセナ自動販売機設置事業等の内容を含んだパンフレットを作成し、飲料メーカー等に事業を周知することで設置台数の増加に努める。		12,975 (基金設置運営費)		
A ③	文化財の保存・継承と親しみ意識の充実	文化財の種別や特性に応じて、計画的な修復、防災対策等その他の他の保存に必要な措置を講じ、文化財の適切な状態で他の保存・継承を図るとともに、文化財の定期公開や修理現場公開、学校連携の促進等、多様な公開・活用手法の実践により、府民が文化財に親しみ意識を充実させる。	H29 府指定文化財の保存、修復、管理等に必要な措置への補助金の交付。また、文化財の定期公開や発掘調査現場公開、学校連携の促進等、多様な公開・活用手法の実践により、府民が文化財に親しみ意識を充実させる取組みもあわせて実施。	府指定文化財の保存等補助事業 15件 国指定文化財管理費の補助事業 58件 発掘調査現場説明会 2回 和泉池上取壊庫公開 5回	11,125	教育庁	教育庁 文化財保護課
			H30 府指定文化財の保存、修復、管理等に必要な措置への補助金の交付。また、文化財の定期公開や発掘調査現場公開、学校連携の促進等、多様な公開・活用手法の実践により、府民が文化財に親しみ意識を充実させる取組みもあわせて実施。		11,214		

施策の 方向性	施策・取組	概要		具体的な取組み	主な実績	当初予算額 (千円)	担当部局	担当課
B ①	上方演芸資料館（フツハ上方） の管理・運営事業	大阪固有の文化である上方演芸を後世に伝えていく ため、資料の収集・整理・保存を行うとともに、資料 の館内・館外展示や上方演芸の観覧入り等を通して、 府民に上方演芸に親しむ場を提供する。	H29	「大阪府上方演芸資料館資料活用検討委員会」を設置し、3年間（平成27～29 年）で登録資料を整理。資料整理と平行して、館内・館外展示を実施。	・フツハ上方来館者数 14,096名 ・満足度 90.4% ・登録資料の整理 100%終了 ・館外展示（館内3箇所で開催）	46,166	府民文化部	文化課
			H30	大阪人のアイデンティティの一つである「笑い」の魅力を、これまで以上に広 く発信し、伝えていくため、野球場を改修し、府民はもとより、国内外の観光 客にも演芸の素晴らしさを知っていただくとともに、多くの人が訪れる魅力的 な施設となるよう事業展開していく。		90,706		
B ①	大阪文化芸術フェス	府内のホール・劇場や公園に、上方伝統芸能、上方 演芸等の大阪が誇るコンテンツや、コンサート、演 劇、アート等の内外のコンテンツを一堂に集め、合わ せて楽しむ。親い合うことで、大阪文化の価値を認 り、府民に文化を楽しむ機会を創出するとともに、府 内全域に多くの観光客を呼び込む。あわせて、大阪が 持つ多様な豊かな文化の魅力を積極的に発信すること により、国際エンターテインメント都市の実現を目指す とともに、大阪の都市格の向上を図り、2025年の国際 博覧会の大阪万博開催につなげていく。	H29	大阪府、大阪市、関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会、大阪 観光局及び関西・大阪21世紀協会と「大阪文化フェスティバル実行委員会」 を立ち上げるとともに、在阪放送局9社にも呼びかけて、オール大阪体制を構 築。10月の1ヶ月間を大阪文化芸術フェス月間と位置づけ、府内全域で事業を展 開。	・主催プログラム 14件 公演数22回 ・共催プログラム 8件 公演数28回 ・メディア掲載数 556件	160,405 (補正後) 80,405	府民文化部	文化課
			H30	昨年度構築したオール大阪の運営体制のもと、大阪が持つ多様な豊かな文化 魅力を積極的に発信するためのプログラムを展開する。コンテンツの充実・強 化、会場数の拡大を図るとともに、より多くの方に認知いただいたり、広報 活動、国際発信力の強化に取り組む。		160,556		
B ①	芸術文化顕彰事業	大阪の文化・芸術に多大な貢献のあった方々の顕彰等 により、大阪の文化振興の推進や都市魅力のア ピールを行う。（大阪文化賞、大阪文化祭賞、山片益 雄賞）	H29	大阪の芸術文化に貢献のあった方々の栄誉をたたえ、文化振興の推進を達成 するとともに、芸術文化活動の奨励及び普及を図る。	・大阪文化賞 受賞者：井上道義 ・大阪文化祭賞 受賞者：TTR芸術プロジェクト 七代目美智子外巻 井上道義指揮大阪フィルハーモニー 交響楽団	2,186	府民文化部	文化課
			H30	大阪の芸術文化に貢献のあった方々の栄誉をたたえ、文化振興の推進を達成 するとともに、芸術文化活動の奨励及び普及を図る。		3,018		
B ①	大阪文化再発見事業	「大阪文化」の豊かさを再認識するため、市町村、 大学及び研究機関等と連携し、「おさか心みんネッ ト」や「阪神奈大・研究機関生涯学習ネットワーク」を立 ち上げ、府民向けの共催講座を実施する。	H29	阪神奈大公開講座フェスタ 参加者募集：8月25日（火）～10月23日（月） 講座（19講座）：11月1日（水）～14日（火） おさか心みんネット 参加者募集：9月～1月（各ブロック） 講座（17講座）：10月中旬～2月	・阪神奈大公開講座フェスタ 講座数：19講座、参加者：1,121人 ・心みんネット 講座数：6ブロック17講座、参加者：999 人	-	府民文化部	文化課
			H30	阪神奈大公開講座フェスタ 参加者募集：8月24日（金）～10月23日（火）予定 講座（19講座予定）：11月1日（水）～14日（火）予定 おさか心みんネット 参加者募集：9月～1月（各ブロック） 講座：10月中旬～2月		-		

施策の 方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額 (千円)	担当部局	担当課	
B ①	文楽伝承事業	大阪が世界に誇る伝統芸能である「人形浄瑠璃文楽」の原形継承事業を行う(財)小文楽協会に補助を行い、技芸の伝承とともに鑑賞機会の充実等を図る。	H29	<ul style="list-style-type: none"> 文楽に触れる機会を提供するとともに、若手技芸員の研鑽による成果を発表する研修発表会事業を補助した。 技芸員が支出する、公演又は研修に必要な経費に対する活動費を補助した。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修発表会事業として文楽三二公演を7公演実施 技芸員82名に対し活動費補助を実施 	19,667	教育庁	教育庁 文化財保護課
			H30	<ul style="list-style-type: none"> 文楽に触れる機会を提供するとともに、若手技芸員の研鑽による成果を発表する研修発表会事業を補助する。 技芸員が支出する、公演又は研修に必要な経費に対する活動費を補助する。 	19,667			
B ②	アートスポット魅力創出発信事業	公共の空間や施設内において、都市魅力を向上させ、観光客等につなげるようなアート作品を設置することにより、大阪に新たな名所(アートスポット)を創出する。	H29	事業計画をとりまとめるにあたり、基礎となるデータの収集・分析、企画立案において民間事業者等の知識やノウハウ等を活用し、より効果的・効率的に実施するため、企画提案公募により事業者の公募、選定を行った。	専門室による懇話会を設け、事業コンセプト、事業内容、手法について意見交換等を行い、事業者の調査結果等をふまえて、事業計画をとりまとめた。	5,000	府民文化部	文化課
			H30	万博記念公園を舞台に都市魅力に寄与するアートスポットを設置することを昨年度にとりまとめた事業計画書に基づき、テーマやコンセプトを定め、作家と作品プランを決定する。		—		
B ②	なにわ伝統野菜の振興	古くから大阪の食文化を支えてきた「なにわの伝統野菜」の発掘と復活に取り組む。 また、「なにわの伝統野菜認証制度」を活用し、「なにわの伝統野菜」の生産振興と消費拡大を図る。	H29	「なにわの伝統野菜認証制度」により、生産者及び加工業者等の認証を行った。新規認証した「難波葱」「難波葱フェスタ」を創産した。ホームページを活用し、府内における「なにわの伝統野菜」の販売やイベント情報等についてPRした。	<ul style="list-style-type: none"> H29年度認証件数 33件(新規・更新含む) イベント参加団体 76団体 イベント参加市民 約8,000人 ホームページ掲載情報数(販売・イベント) 24件 	—	環境農林水産部	環境農林水産部 農産課
			H30	「なにわの伝統野菜認証制度」により、生産者及び加工業者等の認証を行う。「難波葱フェスタ」等のPRイベントを開催する。ホームページを活用し、府内における「なにわの伝統野菜」に係るイベント情報等についてPRする。	<ul style="list-style-type: none"> 大阪産(もん)ロゴマーク認証件数 811件 大阪産(もん)各品認証産業者数 133件 大阪産(もん)フェスタブース前席 158回 海外(香港)フードエキスポ出席数 5事業者 自都庁商談会大阪府ブース出席数 16事業者 府内商談会(大阪産(もん)大蔵談会)出席者数 49事業者 BtoCイベント(大阪産(もん)大集会)出席者数 40事業者 	13,833	環境農林水産部	環境農林水産部
B ②	「大阪産(もん)・大阪産(もん)名品」のプロモーション	大阪で採れた農林水産物やその加工品を大阪産(もん)として、PRするとともに、50年以上の伝統と誇りがあり、大阪府民に愛されてきた特産加工食品を大阪産(もん)各品として認証・PRすることで、大阪の魅力を生かして発信する。	H29	大阪産(もん)フェスタブースでの情報発信、BioBの展示商談会等への出席(海外、自都庁、大阪府内)、BtoCのイベントの開催(大阪府内)等により、大阪産(もん)・大阪産(もん)各品の認証を受けた商品、事業者の魅力を全国や海外に発信した。				
			H30	大阪産(もん)フェスタブースでの情報発信、BioBの展示商談会等への出席(海外、自都庁、大阪府内)、BtoCのイベントの開催(大阪府内)等により、大阪産(もん)・大阪産(もん)各品の認証を受けた商品、事業者の魅力を全国や海外に発信する。	13,833	環境農林水産部	環境農林水産部	

施策の方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
B ②	大阪産(もん) 魚介類の魅力発信	「魚庭(なにわ)の海づくり大会」などイベントを活用し、大阪産魚を発信するとともに「はま」と「まち」のいれあいの場を創出する。	H29	「魚庭(なにわ)の海づくり大会」の開催 学校給食会と連携した出前魚講習会の開催	・大会：台風のため中止(平成29年10月22日) ・魚講習会：7回開催	-	環境農林水産部 水産課
			H30	「魚庭(なにわ)の海づくり大会」の開催 学校給食会と連携した出前魚講習会の開催	・大会：1回開催予定(平成30年11月) ・魚講習会：8回開催予定	-	
B ②	「17食博覧会・大阪」活用 事業	平成29年4月28日から5月7日に開催される2017食博覧会・大阪の場を活用し、大阪の食文化や食の魅力在全国や海外に発信する。	H29	大阪府プースを設置して事業者の出展を支援。大阪産(もん)をはじめとして大阪の食文化や食の魅力を全国や海外に発信した	「2017食博覧会・大阪」の開催 ・開催期間：平成29年4月28日～5月7日(10日間) ・来場者数：約6.2万人 ・食品関係の府内18事業者が大阪の食文化や食の魅力等を発信	500	環境農林水産部 水産課
			H30	(4年に1回開催)			
B ②	統合型リゾートの大阪立地推進事業	IR推進法の成立を受け、大阪へのIR立地を進めるとともに、大阪IR推進(案)・中間骨子」の作成や、IR推進会議の運営、IRに関する何民理解の促進等を行う。	H29	IR推進法の成立を受け、大阪へのIR立地を進めるとともに、「大阪IR基本構想(案)・中間骨子」の作成や、IR推進会議の運営、IRに関する何民理解の促進等を行う。	・IR推進会議を6回開催 ・「大阪IR基本構想(案)・中間骨子」を取りまとめ(平成29年8月) ・府民理解セミナーを10回開催 ・情報発信用の広報ツールとして、リーフレット等を作成	47,706	IR推進局
			H30	大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型IRの実現に向け、事業者公募や区域特定申請に向けた準備等を行うとともに、キャンパブル等依存症対策や治安・地域風俗環境対策などIR立地に伴う緊急事項の難川化及び地域の合意形成に向けた府民理解の促進等を図る。			
B ②	水と光とみどりのまちづくり推進事業	「水と光の首都大阪」の実現をめざし、水の回廊を船が行き交い、内外の人々が水辺に集い憩う水都大阪の発展づくり、水辺の魅力創出に取り組み。また、水都大阪ならではの魅力的な光の景観の創出に取り組み。	H29	・魅力ある舟運の創出に向け、民間のアイデアやノウハウを活用するため、「水都大阪舟運創出推進事業」の受託者を公募して実施。 ・水辺・水上进行しめるイベントとして「水都大阪フェス2017」を実施。 ・北浜・中之島東部エリアでの水辺のにぎわい空間創出事業として、船寄施設及びアート空間整備工事を実施。	・魅力発信、ナイトクルーズ、にぎわい創出の3事業を採択して、舟運活性化に向けた取り組みを推進。 ・「水都大阪フェス2017(10月7～29日)」を開催(あかでも14、15日は水上・水辺を楽しむイベント、クルーズ等を中之島公園周辺で集中して開催。 ・船寄施設及びアート空間整備工事中。(H30年7月供用開始予定)	199,432	府民文化部
			H30	・水辺・水上进行しめるイベントとして「水都大阪フェス2018」を実施。 ・水の回廊のポテンシャルの強化に向け、舟運利用者の利便性の向上や、安全安心な舟運の仕組みづくりの調査を実施。 ・大阪城公園を訪れた観光客を取り込むため、大阪城港への公共船着場の整備に向けて、調査等を実施。			

施策の 方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額 (千円)	担当部局	担当課
B ②	大阪・光の響堂の魅力向上	「御堂筋イルミネーション」と「OSAKA光のルネサンス」をコアプログラムとして、民間等の実施する光のプログラムと連携して、インパクトある様々な空間を演出する「大阪・光の響堂」を実施	H29 大阪・光の響堂2017の開催 (H29.11.12~H29.12.31) ※御堂筋イルミネーション2017 (H29.11.12~H29.12.31)	・大阪・光の響堂全体の来場者数 平成29年度：1,367万人	265,583	府民文化部	魅力づくり推進課
			H30 大阪・光の響堂2018の実施 (H30.11.4~H31.1.31) ※御堂筋イルミネーション2018 (H30.11.4~H30.12.31)	265,583			
B ②	ナイトカルチャー発掘・創出事業	大阪の夜を楽しむためのナイトカルチャーの創出・充実のため、夜間公演等を実施する事業等を支援する。	H29 ・ナイトカルチャーの発掘・創出にかかる検討会を設置し、検討会の意見を踏まえ「大阪府ナイトカルチャー発掘・創出事業補助金交付要綱」を策定 ・検討会から意見聴取のうえ、補助事業を決定	7事業に対して補助金を交付	31,000	府民文化部	魅力づくり推進課
			H30 ・ナイトカルチャーの発掘・創出にかかる検討会から意見聴取のうえ、補助事業を決定	38,060			
B ②	御堂筋活性化事業	大阪のメインストリートである御堂筋を集客誘導として活用して、非日常的なオンライン・ワンコンテントを通じて大阪の魅力全国に発信し、多くの方に大阪を訪ねていただくための起爆剤となるイベントを実施。	H29 御堂筋オートナイトパーティー2017の実施：H29年11月12日(日)	・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 88回 ・WEB掲載回数 560回	18,000	府民文化部	魅力づくり推進課
			H30 御堂筋オートナイトパーティー2018の実施：H30年11月4日(日)	18,000			
B ②	「大阪国際平和センター」における資料収集と情報発信	戦争や平和に関する資料の収集・保存・展示や講演会等の開催を行う大阪国際平和センターに補助を行い、市民の平和意識の醸成を図る	H29 ・大阪空襲犠牲者を追悼し、平和を祈念する ・戦争や平和に関する常設展示に加え、特別展示、企画事業、出かける展示、貸出資料等を実施し、「大阪国際平和センター」の利用促進を図る。	平成29年度実績 ・平和祈念事業の実施 ・入館者数：68,586人 ・特別展示：3回 ・企画事業：8回 ・出かける展示：16回 ・貸出資料利用人数：140,616人	84,307	府民文化部	人権局
			H30 ・大阪空襲犠牲者を追悼し、平和を祈念する ・戦争や平和に関する常設展示に加え、特別展示、企画事業、出かける展示、貸出資料等を実施し、「大阪国際平和センター」の利用促進を図る。	70,853			
B ②	中之島図書館ににおける中之島工場の文化ステーションとして文化事業の実施及び情報発信	中之島工場の文化ステーションとして、中之島図書館の建物・収蔵資料及び中之島工場の魅力を活かして文化事業を実施。中之島図書館及び中之島工場の魅力についての情報発信を行う。	H29 ・「大阪四花街展」(展示：大阪の4つの花街を紹介) ・「人形絵本まんままんパン」(展示：絵本「まんままんパン」のジオラマ展示) ・「建築家・安井武雄の魂の軌跡」(展示：船場、中之島周辺の近代建築の設計者である安井武雄を紹介) ・「大阪学入門」(講座：大阪人、街、ことば、食文化などを紹介) 他	・(4/3~4/28) 5,674人参加 ・(8/1~8/29) 5,203人参加 ・(12/1~12/26) 6,620人参加 ・(5/27、7/22、9/30、1/25、1/27、3/24) 4,201人参加	75,375	教育庁	中2島図書館
			H30 ・「川口居留地今昔写真展」(展示：川口居留地の今昔を写真で紹介) ・「大林芳五郎展」(展示：明治150年関連、近代大阪の都市建設の礎を築いた大林芳五郎を紹介) ・「鉄道展」(展示：4月開業「大阪メトロ」関連で広く大阪の鉄道を紹介) 他	75,751			

施策の方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額(千円)	担当部局	担当課
C ①	江之子島文化芸術創造センター 管理運営事業	文化芸術の振興を図り、大阪の都市の能力の向上に資するため、絵画等の収蔵作品の管理活用、交流・活動場所の提供、アートやデザインを活用した社会課題の発見、解決等、創造的な活動機会の創出を支援するための協働の拠点づくり等を実施する。	<p>① ネットワーク enocoが大阪の文化のハブとなり、クリエイティブプラットフォームによる人と情報のネットワークを構築して大阪の文化関係機関等と関係をつなぐ役割を果たし、多様な個人や組織が協力的な活動に参加する機会を創出する。</p> <p>② 教育 より多様で多くの人々にenocoを活用していただくために、様々な学習の機会を提供するとともに、その成果を昇華する機会の提供に努める。</p> <p>③ フラットフォーラム アートやデザインを通じた社会や地域の課題解決に貢献することで、他のアート系施設との差別化を図る。特に江之子島まちづくり事業や西区との連携を高め、地域の人々やクリエイターとの協働に関するスキルやノウハウを蓄積し、幅広い地域への展開に活かす。</p>	<p>幅広い人々に情報を伝えるべく、雑誌、新聞、WEB媒体への情報掲載依頼を積極的に行うと共に、展覧会時については、新聞社の協力を得ることで情報の周知を図った。</p> <p>・英館者数 145,331人 (H28年度: 133,875人)</p> <p>・在画展亦 須田別荘展 (来館者数 547人/会期: H29.6.9~6.25)</p> <p>20世紀の写真芸術展 ※大阪市共催 (来館者数 1,174人/会期: H29.1.22~1.16)</p> <p>・浅野竹二展 (来館者数 665人/会期: H30.1.12~1.28)</p> <p>・eno so done! (自治体等から5の個別相談) 22件</p> <p>・文化芸術に関する活動を行った延団体等の数 649件</p> <p>・多目的ルーム1~4 (来館者数) 34.0% (H28年度: 37.9%)</p> <p>・多目的ルーム5~12 (来館者数) 41.1% (H29年度: 67.8%)</p> <p>・絵画等所蔵作品活用点数 1,101点 (内、「大阪国際がんセンター」193点等) (H28年度: 1,011点)</p>	64,001	府民文化部	文化課
			<p>① ネットワーク enocoが大阪の文化関係機関等と市民をつなぎ、ヒトと情報のネットワークを構築することで、クリエイターや多様な個人・組織がenocoを舞台に交流、協働、創造的活動を行う拠点として機能させる。</p> <p>② 教育 文化芸術やまちづくりに関する教育機関としてのenocoの特徴をアピールし、特に子どもや親子層をターゲットとした、ものづくりやワークショップ等のワークショップや講座を年間通じて実施することで、館の能力向上と利用促進につなげる。</p> <p>③ フラットフォーラム プラットフォーム手法でアートやデザインを活かして地域や社会課題の解決に貢献することで、他の文化系施設との差別化を図る。また、地域の企業やNPO、個人等が参画する「そのこクラブ」というプラットフォームを運営することで、互いの活動を支援、協働する関係性を構築、地域住民への周知やenocoの活動への参画拡大に努める。</p>	62,809			

施策の 方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額 (千円)	担当部局	担当課	
C	① プラットフォーム形成支援事業	アーティスティックやデザイナー、市民、NPO、大学、企業等の多様な立場の組織や人が集まってフラット、プラットフォームを形成し、対等な立場で交流・利益を行う、アートやデザイン（コミュニケーション含む）を手法として、共に課題の検討や事業を推進するための支援を行う。	H29	<ul style="list-style-type: none"> ・ 府内各団体の連携、府内においてプラットフォーム手法の定着を図るため、部局が有する課題解決への取組みを支援 ・ カンヴァススキームの市町村展開（わがまちカンヴァス事業）市町村において、プラットフォーム手法の定着を図るため、府内市町村が有する地域課題解決への取組みを支援 ・ プラットフォーム手法の伝播、啓発 本事業の周知及び国内外の先進事例を紹介するためのフォーラムを開催。 	(継続案件) ・ 住宅まちづくり部タウン推進局：阪南スカイタウンの遊休土地の活用 (新規案件) ・ 豊能町：シティプロモーション ・ 丸田市：五月山エリアのいきわいづくり ・ 大東市：住道駅周辺の公共空間の活性化 ・ 吹田市：関西大学周辺のまちづくり ・ 西淀川区：マップの活用方法 フォーラム ・ 国内外の先進事例で課題を挙げる講師を招聘し、参加者と知見を共有するフォーラム H29のテーマ：「まちを再生する新たなシナリオづくり」	10,256	府民文化部	文化課
			H30	<ul style="list-style-type: none"> ・ カンヴァススキームの市町村展開（わがまちカンヴァス事業）市町村において、プラットフォーム手法の定着を図るため、府内市町村が有する地域課題解決への取組みを支援 ・ プラットフォーム手法の伝播、啓発 本事業の周知及び国内外の先進事例を紹介するためのフォーラムを開催予定 ・ プラットフォーム形成支援事業のノウハウ・手引き集の作成、配布 これまでに市町村と密接に関わりながら課題解決へと導いてきたプロセス、ステークホルダーの員つけ方や若き込み方、プラットフォームの形成等、個々の課題に対する取組みの詳細を具体的に記載 	10,090			
C	① 音楽体験事業 (角稽)	日本センチュリーが中心となって、子どもが楽器に触れるとともに、オーケストラの中で演奏を聴き、指揮をするなどオーケストラのあらゆる面を体験できるコンサート等を実施する。	H29	楽団の活動拠点であり、「タッチ・ジ・オーケストラ」の開催場所であるセンチュリーオーケストラハウスの維持管理を適宜行い、楽団の活動を支援していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ タッチ・ジ・オーケストラ 18公演 参加者：2310名 ・ 夏休みファミリーコンサート 2公演 参加者1644名 ・ 支援学校コンサート 6公演 参加者：2539名 ・ 病院コンサート 5公演 参加者：535名 	-	府民文化部	文化課
			H30	楽団の活動拠点であるセンチュリーオーケストラハウスの維持管理を適宜行い、楽団の活動を支援していく。	-			

施策の 方向性	施策・取組	概 要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額 (千円)	担当部署	担当課
C	② 江之子島文化芸術創造センター 管理運営事業（再掲）	文化芸術の振興を図り、大阪の都市の魅力の向上に資するため、絵画等の取組作品の管理活用、交流・芸術場所の提供、アートやデザインを活用した社会課題の発見、解決等、創造的な活動拠点の創出を支援するための協働の拠点づくり等を実施する。	<p>① ネットワーク enocoが大阪の文化のハブとなり、クリエイティブプラットフォームによるヒトと情報のネットワークを構築して大阪の文化関係機関等と相互に役割を果たし、多様な個人や組織が協力的な活動に参加する機会を創出する。</p> <p>② 教育 より多様な多くの人々にenocoを活用していただくために、様々な学習の機会を提供するとともに、その成果を発揮する機会を提供に努める。</p> <p>③ プラットフォーム アートやデザインを通じた社会や地域の課題解決に貢献することで、他のアーティスト施設との差別化を図る。特に江之子島まちづくり事業や西区との連携を高め、地域の人々やクリエイターとの協働に関するスキルやノウハウを蓄積し、幅広い地域への展開に活かす。</p>	<p>幅広い人々に情報を伝えるべく、雑誌、新聞、WEB媒体への情報掲載依頼を積極的に行うと共に、展覧会等については、新聞社の後援を得ることで情報の周知を図った。</p> <p>・来館者数 145,331人 (H28年度：193,875人) ・企画展 1 ・須田利太展 (来館者数 547人/会期：H29.6.9～6.25) ・20世紀の写真芸術展 ※大阪市共催 (来館者数 1,174人/会期：H29.11.22～12.16) ・塚野竹二展 (来館者数 665人/会期：H30.1.12～1.28) ・eno so done! (自治体等からの個別相談) 22件 ・文化芸術に関する活動を行った延団体等の数 649件 ・多目的ルーム1～4 (展示室仕様) 34.0% (H28年度：37.9%) ・多目的ルーム5～12 (会議室仕様) 41.1% (H29年度：67.8%) ・絵画等所蔵作品活用点数 1,101点 (内、「大阪国際カルテセンター」193点等) (H28年度：1,011点)</p>	64,001	府民文化部	文化課
			<p>① ネットワーク enocoが大阪の文化関係機関等と市民をつなぎ、ヒトと情報のネットワークを構築することで、クリエイターや多様な個人・組織がenocoを舞台に交流、協働、創造的活動を行う機会として機能させる。</p> <p>② 教育 文化芸術やまちづくりに関する教育機関としてのenocoの特徴をアピールし、特に子どもや親子層をターゲットとした、ものづくりやワークショップ等のワークショップや講座を年間通じて実施することで、館の能力向上と利用促進につなげる。</p> <p>③ プラットフォーム プラットフォーム手法でアートやデザインを活かして地域や社会課題の解決に貢献することで、他の文化施設との差別化を図る。また、地域の企業やNPO、個人等が参加する「エのこクラブ」というプラットフォームを運営することで、互いの活動を支援、協働する関係性を構築、地域住民への周知やenocoの活動への参画拡大に努める。</p>	<p>① ネットワーク enocoが大阪の文化関係機関等と市民をつなぎ、ヒトと情報のネットワークを構築することで、クリエイターや多様な個人・組織がenocoを舞台に交流、協働、創造的活動を行う機会として機能させる。</p> <p>② 教育 文化芸術やまちづくりに関する教育機関としてのenocoの特徴をアピールし、特に子どもや親子層をターゲットとした、ものづくりやワークショップ等のワークショップや講座を年間通じて実施することで、館の能力向上と利用促進につなげる。</p> <p>③ プラットフォーム プラットフォーム手法でアートやデザインを活かして地域や社会課題の解決に貢献することで、他の文化施設との差別化を図る。また、地域の企業やNPO、個人等が参加する「エのこクラブ」というプラットフォームを運営することで、互いの活動を支援、協働する関係性を構築、地域住民への周知やenocoの活動への参画拡大に努める。</p>	62,809		

施策の 方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額 (千円)	担当部局	担当課
C	ラグビーワールドカップ2019 の大阪開催	ラグビーワールドカップ2019大会準備推進組織を 設置し、大会運営に係る関係機関との協議・調整や大 会に向けた機運醸成を図るための取組みを展開する。	H29 大会の認知度向上、大会に向けた機運の醸成を図るとともに、ラグビー・ス ポーツの街「大阪」を内外にアピールするため、広域・密着事業を展開する。 また、平成31年9月の大会に向けた準備を東大阪市と連携しながら進める。	ラグビートップリーグの試合会場等でのプロ モーション活動の実施（27回） （その他の活動） ・スポーツ等その他のイベントでのPRプロモー ション活動（86件） ・デジタルキャンペーンによるRWC2019本会 開催告知プロモーションの実施。（梅田、難 波、天王寺、関西国際空港）（5月） ・ラグビーワールドカップ2019フェア・エリ ス・カップ特別展イベントを開催。（10月） ・試合日程発表会ハブリックビュイイングの実 施。（11月） ・大阪環状線運行車輛へのラッピング及び中吊 り設置メッセージポスターの掲出。（11～12 月） ファンゾーン運営計画、交通輸送基本計画の 策定、平成30年度は、ファンゾーン運営計 画、交通輸送実施計画の策定に向けた検討、関 係先と調整する。	450,656	府民文化部	スポーツ振興課
			H30 東大阪市花園ラグビー場をはじめ全国12会場で行われる本大会まであと1年半 となり、大会成功に向け、プロモーション活動による一層の機運醸成及び認知 度向上を図るとともに、スポーツの街「大阪」を内外にアピールするため、広 域・密着事業を展開する。 また、本年10月に予定される花園ラグビー場でのテスト試合（日本代表戦）を 通じて、大会運営の課題を検討し、本番に向けた準備を東大阪市と進めてい く。	201,360			
C	オリ・パラ等事前キャンプ誘致 の推進	オリ・パラ等の事前キャンプを誘致するため、府内 の魅力的な観光施設等を取りまとめた広域ネットワークによ り、市町村が誘致意向を示す競技に係る団体や在関西 総領事館等を対象に情報発信を行うことで、府内市町 村の取組みを支援する。	H29 ・PRパンフレット「大阪スポーツキャンプガイド」を活用し、在関西総領事 館、競技団体等に働きかけ ・誘致希望のある市町村と総領事館との調整	市町村の誘致活動の支援件数 29件 ・PRパンフレット「大阪スポーツキャンプ ガイド」を活用し、在関西総領事館、競技団体等 に働きかけ(27件) ・誘致希望のある市町村と総領事館との調整(2 件) 事前キャンプにかかるとアメリカ水泳連盟の視察 受け入れ他(2件)	1,654	府民文化部	スポーツ振興課
			H30 ・PRパンフレット「大阪スポーツキャンプガイド」を活用し、在関西総領事 館、競技団体等に働きかけ ・誘致希望のある市町村と総領事館との調整	200			

施策の 方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額 (千円)	担当部署	担当課
C ③	大阪マラソン開催事業	3万2千人のランナーが大阪のランドマークを駆け抜ける「大阪マラソン」を実施する。大阪マラソンは、ランナーだけでなく、市民をはじめ多くの方々に楽しんでもいただける大阪を挙げての「お祭り」。大阪の元気な姿や都市魅力が国内外に大きく発信する。	<p>H29 第7回大阪マラソン開催（H29.11.26） ・スポーツが文化となることをめざす取組みとして、第7回大阪マラソンからポスター等に使用するメインビジュアル（作品の中心となるイメージ画像）を一般公募 ・世界各地から参加するランナーをおもてなしし、国際交流を築きあげることを目指して、「大阪マラソン SEASON TRIARU 2017 Happy Morning Run」を初開催 ・チャリティ事業の継続</p>	<p>90,000 出場者：32,008人（国外4,160人） 沿道観衆：1,300,000人 チャリティ募金額：167,870,255円</p>	府民文化部	スポーツ振興課	
			<p>H30 第8回大阪マラソン開催（H30.11.25） ・大阪マラソンに愛着を持ってもらうことへの取組みとして、初心者の女性をサポートするために、女性向け練習会を初開催 ・世界各地から参加するランナーをおもてなしし、国際交流を築きあげることを目指して、「大阪マラソン SEASON TRIARU 2018 Happy Morning Run」を開催 ・チャリティ事業の継続</p>	<p>115,000</p>			
C ③	プロスポーツチームとの連携事業	スポーツを都市魅力の重要なコンテンツと位置づけ、大阪にゆかりのある全国で活躍する野球やサッカー等のプロチームと連携して、スタジアム等で都市魅力の発信、観光振興につなげるための取組みを進める。	<p>H29 オリックス・バッファローズ、阪神タイガース、セレッソ大阪、カンパネラ、大阪エヴェッサと連携し、公式戦において体力測定会等を実施したほか、スポーツを大阪の都市魅力としてPR</p>	<p>—</p>	府民文化部	スポーツ振興課	
			<p>H30 引き続き、大阪にゆかりのある主なプロスポーツチームと連携してイベントを実施</p>	<p>—</p>			
C ③	スポーツ情報ネットワークシステム推進事業	府民のスポーツ活動を推進するため、府内のスポーツイベント情報、スポーツ施設情報など、府内のスポーツに関する様々な情報を一元的に提供する。	<p>H29 企画・歴史により、事業者を公募し、以下の業務を実施。 （1）大阪府スポーツ情報ネットワークシステム「なみはやスポーツネット」企画提案により事業者を公募し、府内のスポーツイベント情報、スポーツ施設の情報、ボランティア情報等を発信。 （2）なみはやスポーツネットワーク「スポーツ情報通信」府スポーツ施設、大阪マラソン等、スポーツ関連イベント情報を毎月1回、年間を通して計12回配信 （3）大阪府スポーツキャンペーンガイド（平成28年度開設）2020年度更新オリンピック・パラリンピックに向け、事前キャンペーン地として活用可能な施設等の情報に特化したページを運用</p>	<p>2,358 「なみはやスポーツネット」 アクセス件数 254,885件 「スポーツ情報通信」配信件数：556件 ※平成19年度からの累計</p>	府民文化部	スポーツ振興課	
			<p>H30 委託業者と協力し、府民がより利用しやすいポータルサイトとして、内容の充実に取り組む。 「大阪スポーツネットワーク」は2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、別途作成したパンフレットと併せて、事前キャンペーン誘致に向けて、国内外に発信していく。</p>	<p>2,358</p>			

施策の方向性	施策・取組	概要	具体的な取組み	主な実績	当初予算額(千円)	担当部署	担当課
C ③	府民スポーツ・レクリエーション事業	<p>広く府民にスポーツ・レクリエーション活動を紹介し、実施する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起し、もって誰もが生涯を通じて、健康でゆとりや思いを享受することができきる豊かな社会を実現する。また、スポーツ実施率向上に向けた、スポーツ体験会や体力測定会を開催する等、府民がスポーツに思いを込め、参加を促すことにより、府内小学生を対象に、大阪を拠点とするプロスポーツチームの選手・指導者によるスポーツ教室を開催する。</p>	<p>H29</p> <p>(1) スポーツ・レクリエーション発表交流会 発表の場…(仮)大阪府レクリエーション協会加盟団体、その他参加希望団体による演技発表会と参加者全員による輪おどり交流の場…スポーツ・レクリエーション種目紹介、一般参加型体験コーナー</p> <p>(2) 生涯現役スポーツ賞贈呈式 長年にわたり、スポーツ・レクリエーション活動に親しむとともに、その普及振興を図り、健康で豊かな生涯スポーツ社会づくりに功績のある個人又は団体に対し贈呈する。</p> <p>(3) キッズスポーツ体験会 府内小学生を対象とした在版のトップスポーツチームの選手・指導者によるスポーツ教室の開催</p> <p>(4) スポーツ体験会 専門家の指導を受けながら、気軽に取り組める運動を体験</p> <p>(5) 体力測定会 適年・適齢イベントやスポーツ観戦等の来場者を対象に体カテスト等を実施し、データに基づく運動指導を行う。</p> <p>(6) スポーツ大会の共催及び後援 府内各スポーツ施設で開催されるスポーツ大会の共催・後援を行う。</p>	<p>(1) スポーツ・レクリエーション発表交流会 参加者：約6,700人</p> <p>(2) 生涯現役スポーツ賞贈呈式 授賞：金賞 17名、銀賞 47名、団体賞 9団体</p> <p>(3) キッズスポーツ体験会 ＜屋外競技＞ 参加者：214名(当選者275人) 協力：万葉パルク、セレッソ大阪、オリック、ス・パワフルーズ、近鉄ライナーズ</p> <p>(4) キッズスポーツ体験会 参加者：212名(当選者269人) 協力：堺アレイガーズ、サントリリーザンバース、ハナソニックハンガース、大阪エフエツガ、シュライカー大阪</p> <p>(5) 体力測定会 参加者：約2,500人</p> <p>(6) スポーツ大会の共催及び後援 参加者：約40,000人</p>	府民文化部	スポーツ振興課	
C ③	スポーツボランティア養成及び派遣事業	<p>派遣要請のあったスポーツ大会へスポーツボランティアを派遣するとともに、スポーツボランティアの資質向上や人材育成を目的として、研修会等を実施する。</p>	<p>H29</p> <p>(1) スポーツ・レクリエーション発表交流会 発表の場…(仮)大阪府レクリエーション協会加盟団体、その他参加希望団体による演技発表会と参加者全員による輪おどり交流の場…スポーツ・レクリエーション種目紹介、一般参加型体験コーナー</p> <p>(2) 生涯現役スポーツ賞贈呈式 長年にわたり、スポーツ・レクリエーション活動に親しむとともに、その普及振興を図り、健康で豊かな生涯スポーツ社会づくりに功績のある個人又は団体に対し贈呈する。</p> <p>(3) キッズスポーツ体験会 府内小学生を対象とした在版のトップスポーツチームの選手・指導者によるスポーツ教室の開催</p> <p>(4) スポーツ体験会 専門家の指導を受けながら、気軽に取り組める運動を体験させる。</p> <p>(5) 体力測定会 適年・適齢イベントやスポーツ観戦等の来場者を対象に体カテスト等を実施し、データに基づく運動指導を行う。</p> <p>(6) スポーツ大会の共催及び後援 府内各スポーツ施設で開催されるスポーツ大会の共催・後援を行う。</p>	<p>年間31事業にスポーツボランティア延べ約600人を派遣。 5月28日にトーンセンターにて大阪府スポーツボランティア研修として、ロコモ予防体操を実施。</p>	685	府民文化部	スポーツ振興課
C ③	スポーツボランティア養成及び派遣事業	<p>派遣要請のあったスポーツ大会へスポーツボランティアを派遣するとともに、スポーツボランティアの資質向上や人材育成を目的として、研修会等を実施する。</p>	<p>H30</p> <p>(1) スポーツ・レクリエーション発表交流会 発表の場…(仮)大阪府レクリエーション協会加盟団体、その他参加希望団体による演技発表会と参加者全員による輪おどり交流の場…スポーツ・レクリエーション種目紹介、一般参加型体験コーナー</p> <p>(2) 生涯現役スポーツ賞贈呈式 長年にわたり、スポーツ・レクリエーション活動に親しむとともに、その普及振興を図り、健康で豊かな生涯スポーツ社会づくりに功績のある個人又は団体に対し贈呈する。</p> <p>(3) キッズスポーツ体験会 府内小学生を対象とした在版のトップスポーツチームの選手・指導者によるスポーツ教室の開催</p> <p>(4) スポーツ体験会 専門家の指導を受けながら、気軽に取り組める運動を体験させる。</p> <p>(5) 体力測定会 適年・適齢イベントやスポーツ観戦等の来場者を対象に体カテスト等を実施し、データに基づく運動指導を行う。</p> <p>(6) スポーツ大会の共催及び後援 府内各スポーツ施設で開催されるスポーツ大会の共催・後援を行う。</p>	<p>引き続き、府関連団体、民間団体のスポーツイベントへボランティアを派遣する。スポーツボランティア研修に大規模スポーツイベントの担当者講師として招き、実施予定。</p>	645	府民文化部	スポーツ振興課